



京葉ガスが、業務効率向上と電子文書管理・ 流通の標準ツールとして Acrobat 9 を採用

お客さまや取引先とのさらなる信頼強化を目指す

【2010年4月21日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下アドビシステムズ）は、京葉瓦斯株式会社（本社：千葉県市川市、以下京葉ガス）が、社内外との文書の円滑なやりとり、安全な情報共有、そしてIT支出の削減を主な目的にアドビシステムズのAdobe® Acrobat® 9を全社規模で導入したと発表しました。京葉ガスでは、昨年12月にAdobe Acrobat 9をライセンス導入し、一括管理を行っています。

京葉ガスでは、各部門でPDF作成ソフト利用する機会が増えていましたが、PDF作成ソフトの選定は、各部門に一任していたため、部門によってメーカーやバージョンに相違があり、部署を異動すると使い勝手が変わるため業務効率が落ちる、などという弊害が目立つようになっていました。また、部門によっては安価なPDF作成ソフトを導入していたため、データをうまくPDFに変換できない、Adobe Readerでうまく閲覧できない、1ページにしたつもりが2ページになってしまうなどの問題があり、信頼性の面で苦労していることが浮き彫りとなっていました。このような状況に対処するために、京葉ガスでは、一元的でセキュリティの高いPDF作成ソフトの導入を検討するにいたりしました。

京葉ガスでは、PDF作成ソフトの選定に先立ち、昨年7月に社内アンケートを実施しました。その結果、アドビシステムズのAcrobat 9がその優れた品質、PDF作成ソフトとしての実績と信頼性、Adobe Readerによる閲覧性の高さから、高い評価を得ていることがわかり、同ソフトの全社規模での導入にいたりしました。

今回のプロジェクトを率いた京葉ガス情報システム部 運用管理グループ ITインフラチームリーダーの山口 喜正氏は、「Acrobat 9を選定した理由の一つは、全ての文書をオリジナルに忠実なイメージでお客さまに提供し続けることで、信頼性の維持と強化につなげたい、という当社の姿勢を表すものです。また、Acrobat 9の特徴の一つであるセキュリティ機能を有効に利用することにより、安全で信頼性の高いPDF文書のやりとりが実現しました。これにより、利用者の業務効率とパフォーマンスの向上が期待できます」と述べています。

京葉ガスでは、今後も定期的に社内アンケートを実施し、利用者の「声」を反映した形でAcrobat 9の豊富な機能をPDF作成以外の目的でも活用していく予定です。

京葉瓦斯株式会社について

1927年に設立された京葉ガスは、千葉県北西部の市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市、柏市、流山市、白井市など約85万件（平成22年2月現在）のお客さまに都市ガスをお届けしています。京葉ガスは、お客さまや社会から信頼され、選ばれ続ける企業「お客さま満足度NO.1 エネルギー事業者」の実現に向けて取り組んでいます。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。